DēLonghi

Electric Oil-Filled Heater

デロンギ
オイルヒーター

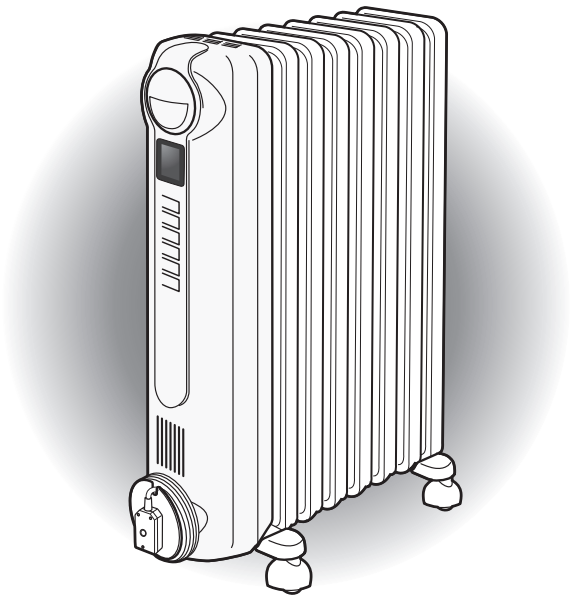
型式番号

JRE0812

家庭用

取扱説明書（保証書付）

このたびは、デロンギ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。



準備

お使いになる前にお読みください。

安全上のご注意 2
ご使用の前に 4
オイルヒーターについて 6
設置する 6
各部の名称とはたらき 8

基本操作

基本的な操作について説明しています。

暖房運転を行う 10
暖房の設定方法 11
運転モードの切り替え
（マニュアル運転とエコ運転） 12
タイマー運転の方法 13
便利な機能について 14

故障かな？

修理をご依頼いただく前にお読みいただきたい内容を記載しています。

故障かな？ 15

その他

本機のお手入れや保管のしかた、仕様などを記載しています。

お手入れ／保管のしかた 17
仕　様 17
アフターサービス 18
保証書 19

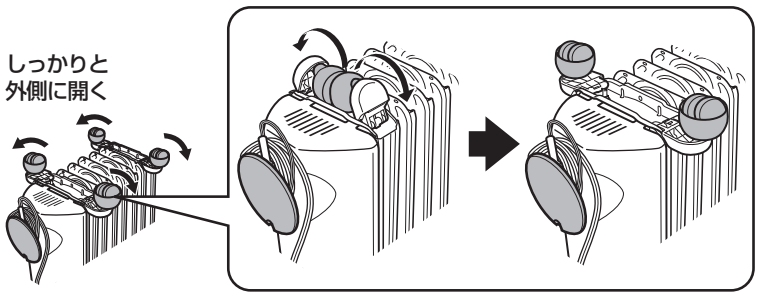
- 本書に記載の内容は、改善のため予告なく変更する場合があります。
- 本体の型式番号「JRE0812」の後に続くハイフンおよびアルファベットは、色番号を表すものです。

■折りたたみ式キャスターの開き方

① 本機の底面が上になるように立てる

② すべてのキャスターをしっかりと外側に開く

③ 本機をゆっくり起こす



安全上のご注意　＜必ずお守りください＞

- ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への損害を未然に防止するものです。

警告　誤った取扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの	注意　誤った取扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

必ずしなければいけないことを示します。	してはいけないことを示します。

警告

定格15 A（100 V）のコンセントを単独で使用する
（火災、感電の原因）
※ ゆるんだコンセント、延長コード、テーブルタップなどは使用しないでください。
※ 海外など異なる電源電圧の地域で使用しないでください。（日本国内専用）

電源プラグは根元までしっかりと差し込む
（火災の原因）

電源プラグやコンセントのほこりは定期的に乾拭き掃除をする
（火災の原因）
※ 4ページ「電源プラグ・コード、コンセントの定期点検」参照

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く
（火災、感電の原因）

異常、故障時には直ちに使用を中止する
（火災、感電、やけどの原因）
〈異常、故障例〉
- 電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
- 異常な音やにおいがする。
- 本体が転倒または落下し、損傷した。

異常、故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社へ点検、修理を依頼してください。

お子様や自分で本機の温度調整ができない方には必ず付き添う
（火災、感電、やけど、けがの原因）
- 子供が機器（電源コード含む）で遊ばないよう監視する。

※ 本製品は、安全に関する知識や経験が少ない方の使用は想定しておりません。小さなお子様、乳幼児、取り扱いに不慣れな方が近くにいるときは、必ず操作できる人が付き添ってください。

電源プラグ・電源コードを破損させない
（火災、感電の原因）
- コードに重たいものを載せたり、本機の下敷きにしない。
- コードを無理に引っ張ったり、束ねたまま使用しない。
- コードをピンと引っ張ったまま使用しない。
- コードを引っ張って本体を移動させない。
- 高温部や、他の熱機器に近づけない。

電源プラグ・コードに破損、変形などの異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店または当社へ点検、交換を依頼してください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
（感電の原因）

運転中に電源プラグを抜き差ししない
（火災、感電の原因）

電源コードを巻き付けたまま使用しない
（火災の原因）
※ 余った電源コードは伸ばしたまま使用してください。

収納の際、電源コードをコードホルダーに強く巻かない
（火災の原因）
※ 14ページ「お手入れ／保管のしかた」参照

カーテン、ふとんなど燃えやすいものや、コンセントのすぐ近くで使用しない
（火災、やけど、けがの原因）
- 電源をとるコンセントのすぐ下で使用しない。
- スプレー缶やカセットボンベを本体の近くに置かない。

分解、修理、改造をしない
（火災、感電、やけどの原因）

穴、すき間、開口部に指やピン・針金などを差し込まない
（感電、けがの原因）
※ 特に小さなお子様にはご注意ください。

覆い掛け禁止

本体や通気口をふとんや衣類などで覆わない
（火災の原因）
- 乾燥など他の用途で使用しない。

⚠ 注意

決められた設置方法に従う
（火災、感電、やけど、けがの原因）
※ 6ページ「設置場所についてのご注意」参照

お手入れや保管、本体の移動は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行う
（感電、けが、やけどの原因）
※ 階段や段差を移動させるときは、必ず手袋などで手を保護し、本体底部を持って移動させてください。

長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く
（火災の原因）

水、湿気の多い場所で使用しない
（火災、感電の原因）
- 屋外や浴室など、水や湿気の多い場所で使用しない。
- 硫化ガスが発生する場所（温泉地の脱衣所など）や塩害のおそれのある場所で使用しない。

電源の入切をするための部品（タイマーなど）やその他の製品、部品を組み合わせて使用しない
（火災、感電の原因）

本体に水などの液体をこぼしたり、水洗いしたりしない
（火災、感電の原因）

運転中および運転停止後しばらくは、本体に触れない
（やけどの原因）

本体の上に乗ったり、寄りかかったりしない
（けがの原因）
※ 特に小さなお子様にはご注意ください。

犬や猫などのペットの暖房に使わない
（火災の原因）

知っておいていただきたいこと：ブレーカーについて

ブレーカー（分電盤内にある回路遮断器）は、その回路で電気を使い過ぎた時や何らかの原因で瞬時に大電流が流れた場合に自動的に電気を断ち、回路を守ります。**契約電力が不足している場合や、足りていても、その回路の容量を超えて複数の電気器具を使用すれば、ブレーカーが働き（＝落ち）ます。**
※契約電力が不足している場合には、電力会社に増量を依頼してください。

この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。
欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合（EU）による指令です。
この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル（PBB）、ポリブロモジフェニルエーテル（PBDE）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。

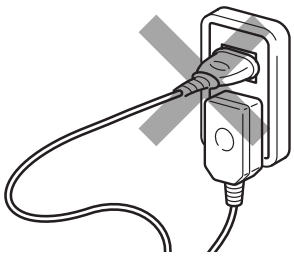
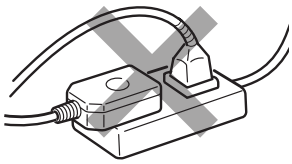
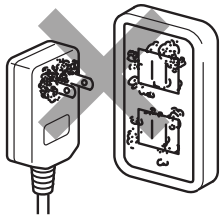
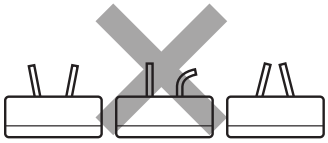
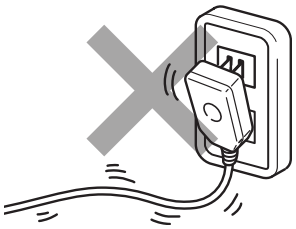
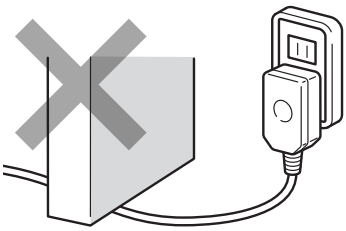
RoHS

ご使用の前に

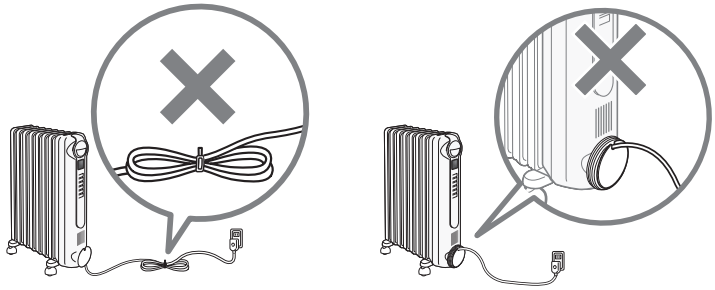
電源プラグ・コード、コンセントの定期点検

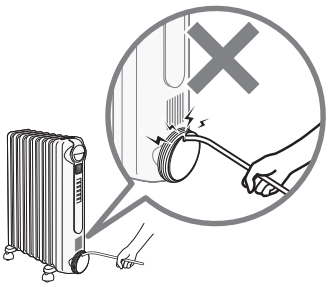
近年、「トラッキング現象」や「電源プラグとコンセントの接触不良」を原因とする火災事故が増加の傾向にあります。
製品を正しく、安全にお使いいただくために、下記に従って、電源プラグ、電源コード、およびコンセントを定期的に点検してください。

電源プラグ・コード、コンセントの安全チェックシート

チェックポイント		詳細説明
□ コンセントを他の機器と併用していませんか？		**定格15A（100V）のコンセントをお使いください。コンセントが2口の場合は、片方を空けて単独でお使いください。** 他の器具と併用して容量がオーバーすると異常発熱し、火災の原因になります。
□ 延長コードやテーブルタップを使っていませんか？		**延長コードやテーブルタップなどは使用しないでください。電源はコンセントから直接お取りください。** コンセントや電源プラグ・コードが異常発熱し、火災の原因になります。
□ 電源プラグやコンセントにほこりがついていませんか？		**付着したほこりは、掃除機などで定期的に取り除いてください。** 電源プラグとコンセントの接触面にほこりが付着し、湿気が加わると、トラッキング現象が発生し、火災の原因になります。
□ 電源プラグ（刃）が変形していませんか？		**電源プラグ（刃）が変形した場合は、販売店または当社にプラグの交換をご依頼ください。** 曲がった刃は、接触不良時の発熱により、コンセントの刃受を変形させる原因になります。 （曲がった刃をペンチなどで手直ししないでください。）
□ コンセントにガタツキはありませんか？		**コンセントにガタツキや緩みのある場合は、お近くの電気店に修理をご依頼ください。** 緩みのあるコンセントを使用すると、電源プラグ（刃）と十分な接触が得られず異常発熱し、火災の原因になります。
□ 電源コードに重い物が載っていませんか？		**電源コードに重いものを載せたり、壁に押し付けたりしないでください。** 電源コードに無理な力が加わると、電源コードが断線し、火災や感電の原因になります。

チェックポイント	詳細説明
□ 電源コードを束ねたり、コードホルダーに巻いたまま使っていませんか？	**余った電源コードは残さずコードホルダーから解き、伸ばしたままお使いください。** 電源コードを束ねたり、コードホルダーに巻いたままでお使いになると、異常発熱し、火災の原因になります。
□ 電源コードをコードホルダーに強く巻いていませんか？	**収納するときは、電源コードをコードホルダーに強く巻きつけないでください。** 電源コードを強く巻きつけると、コードの接続部が傷み、火災や感電の原因になります。



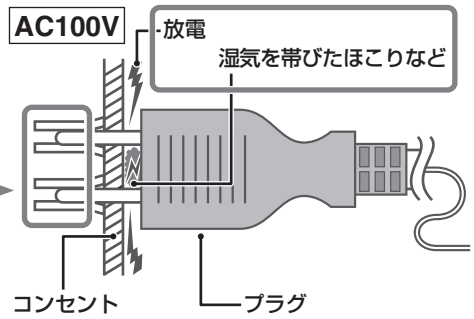


■ トラッキング現象とは

火災の原因となる自然現象です。コンセント周りにほこりが溜まると、そこに湿気が加わることで異常電流が流れやすくなります。異常電流が長い時間続くと、電源プラグやコンセントの表面が炭化し、最終的に放電現象と火災が発生します。これがトラッキング現象です。
トラッキング現象は、定期的なお手入れで防ぐことができます。（17ページ参照）

■ 電源プラグとコンセントの接触不良に注意しましょう

コンセントに電源プラグが根元までしっかり差し込まれていないと、刃受けとプラグの刃が不十分な接触のために、コンセントが発熱します。この状態のまま使用し続けるとコンセントやプラグが熱で変形･変質して、さらに発熱し、火災の原因になります。



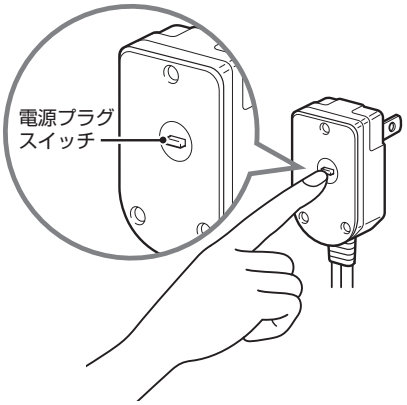
ご使用前に電源プラグをご確認ください

本製品の電源プラグは、復帰型温度過昇防止装置内蔵の安全プラグです。
復帰型温度過昇防止装置は、コンセントの老朽化やガタツキによるプラグ部の発熱･発火事故を未然に防ぐために、電源プラグスイッチ周辺が異常過熱（約80℃以上）したときに本製品の電源を自動で切ります。

輸送時の環境により復帰型温度過昇防止装置が作動して、購入直後に本製品の電源が入らない場合がありますが、故障ではありません。

電源プラグをコンセントに差し込んでも、ディスプレイの通電表示が点灯しない場合、電源プラグスイッチ（右図）をカチッと音がするまでプラグ内に押し込んでください。

● ご使用前（シーズンごと）に電源プラグスイッチがプラグ内に押し込まれているか確認してください。

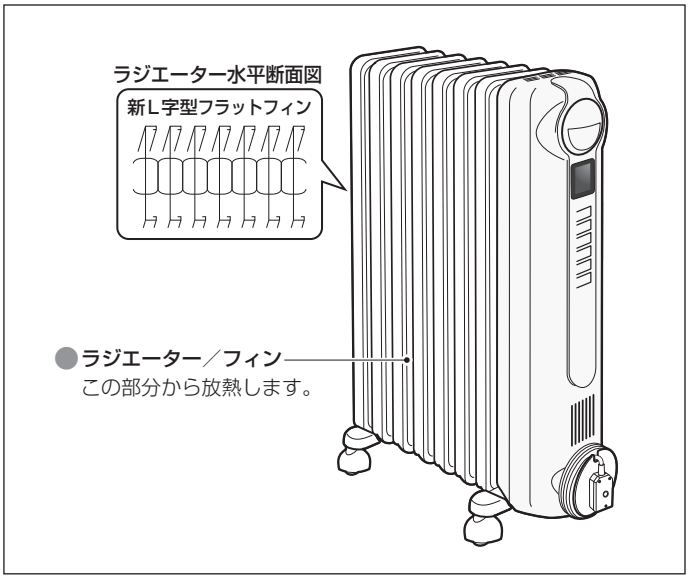


特許第4209907号取得

オイルヒーターについて

暖房のしくみ

ラジエーター内部に密封した難燃性オイルを本体の下部にある棒状の電気ヒーターで温めます。温められたオイルはフィン内を循環、効率良く放熱し、輻射熱と自然対流で室内を暖めます。



よくあるご質問(これは故障ではありません)

■使いはじめの臭いについて

使いはじめは新製品特有の臭いを感じることがあります。本体の耐熱塗装が熱になじむまで臭いを感じますが機能や安全性に問題はありません。しばらくお使いただくと臭いはおさまります。

■運転中にパチッパチッと音がする

電源を入れると、ラジエーター内部で天ぷらを揚げるような音がする場合があります。これは、外気との温度差によって生じた結露が熱くなったオイルに落ちたときの音です。異常ではありません。

■「カンカン」や「キーン」といった金属音がする

本体が温まったり、冷めたりする際に発生する音です。異常ではありません。

設置する

ご購入後すぐに

必ずキャスターを開いて使用する

※ 設置前に必ず折りたたみ式キャスターを開いてください。(開き方については表紙参照)

本機を移動するときは

本体の移動は、必ず本体が冷えてから行う

- 取っ手を持ちゆっくりと引いてください。
- 階段や段差を移動するときは、本体底部を持って移動してください。
  ※ 持つときは必ず手袋などで手を保護してください。

設置場所についてのご注意

壁や電源をとるコンセント、カーテンなどから20 cm以上離す

※ 材質によっては、本体の熱で変色／変質する恐れがあります。

テーブルや机の下で使わない

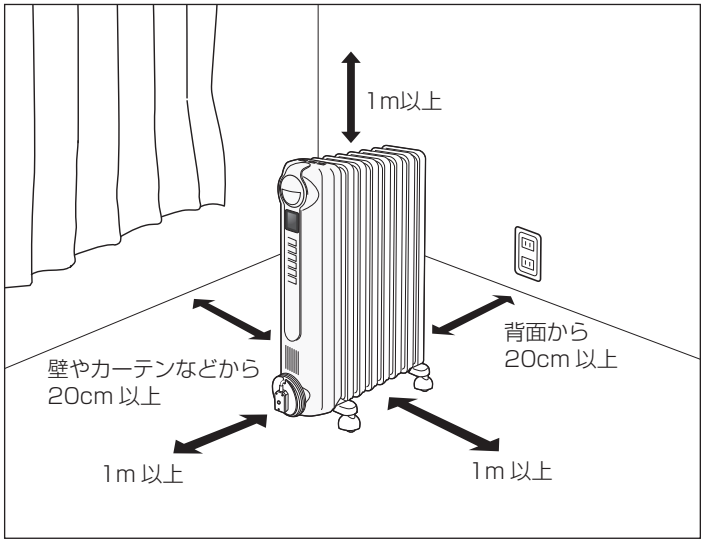
※ 本体の上部は燃えやすいものから1 m以上の距離を取ってください。上部をふさぐと空気の対流ができないため高温になります。

人や家具などからは1 m以上離す

※ 寝室で使用するときは、寝起き時の転倒事故防止、寝具への接近を考慮して1 m以上の距離を取ってください。

毛足の長いじゅうたんや凸凹のある床は避けて、平らな場所に置く

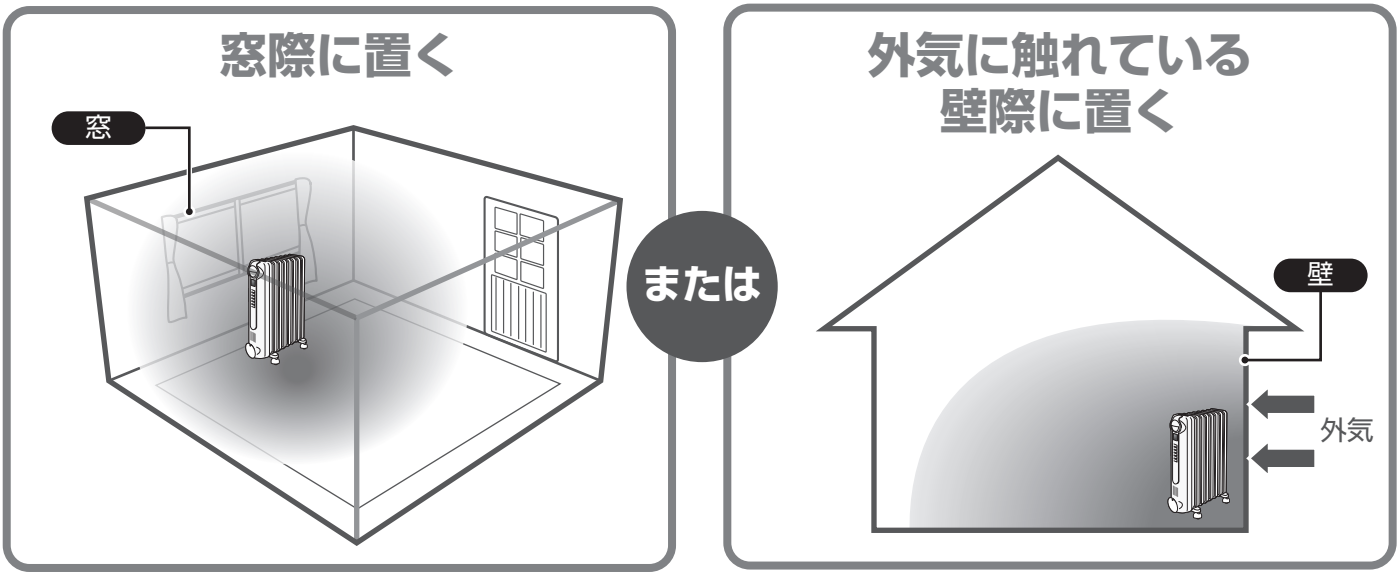
※ 本体が倒れるとけがの原因になります。



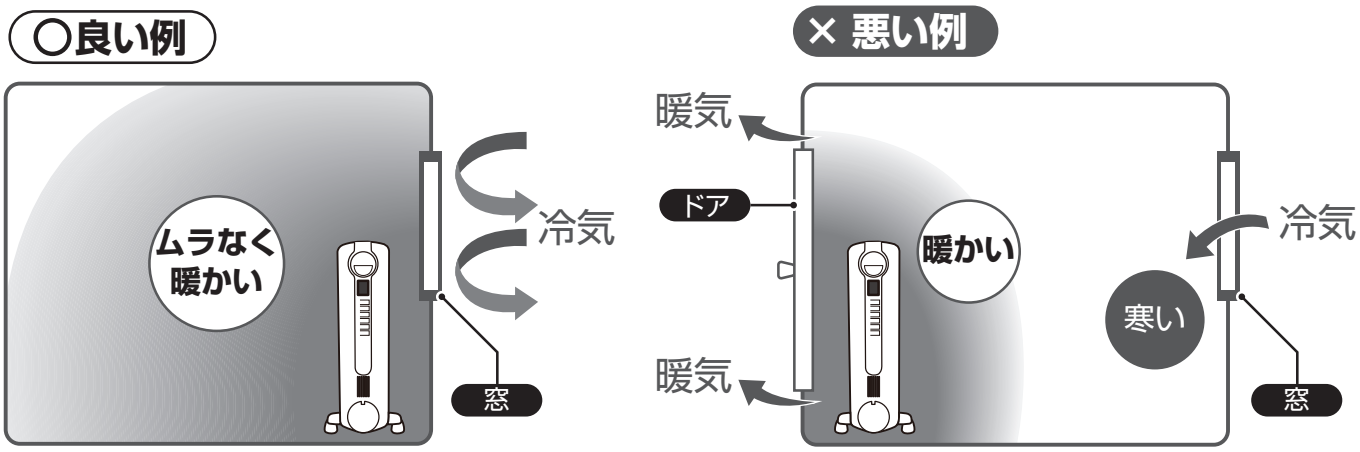
- ホットカーペットや床暖房の上で使用しないでください。温度センサーが正しく働きません。

設置場所の工夫で効果的な暖房を

オイルヒーターの熱が、冷気の侵入をブロックすることでお部屋の暖房効果が高まります。
お部屋の中でも屋外からの冷気に影響されやすい、次のような場所に置いてください。



■設置場所の良い例と悪い例



- 窓際に置くとムラなく暖かい

- 冷気が侵入し温度ムラができやすい
- ドア付近に設置すると暖まった空気が室外に逃げやすい

■その他の工夫

窓からの冷気の侵入を防いでお部屋の断熱性を高めると、さらに暖房効率が上がります。

- 厚手で長めのカーテンを引く
- 窓に市販の断熱シートを貼る
- サッシに市販の断熱テープを貼る

お知らせ

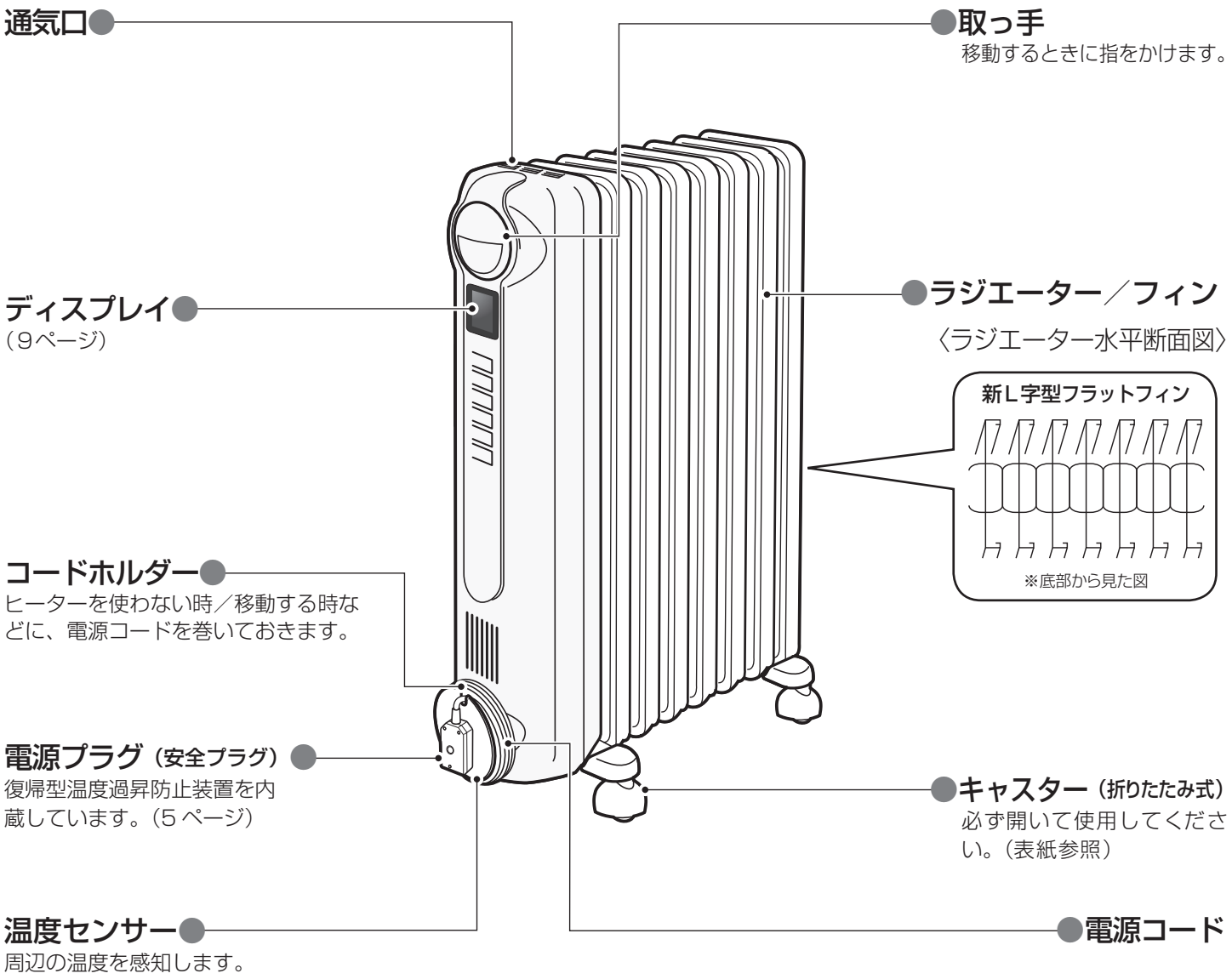
当社のWEBサイトでは、オイルヒーターをより効果的に使う方法や電気代の目安となるシミュレーションなどをご案内しています。

オイルヒーター特設サイト
http://oilheater.delonghi.co.jp/

各部の名称とはたらき

本体

⚠ ご使用の前に各部の輸送用の粘着テープやシールを必ずはがしてください。



ヒント　ホットカーペットや床暖房の上で使用すると、室温を正常に検知しないことがあります。

ヒーターを移動する際のご注意

床材の質・種類によっては、床面が傷付く場合がありますので、ゆっくりと動かしてください。また、階段や段差での移動は、ヒーターが十分冷えてから本体底部を持って行ってください。

ディスプレイ

⚠ ご使用の前にディスプレイの保護シールを必ずはがしてください。

通電表示
電源プラグをコンセントに差し込むと赤色に点灯します。

稼働電力レベル表示
暖房の稼働状況を電力レベルに応じて色別に点灯します。

- 強で稼働▶**赤色**
- 中で稼働▶**黄色**
- 弱で稼働▶**緑色**
- 暖房停止▶**消灯**

エコ運転表示
エコ運転時に表示されます。
（12 ページ参照）

凍結防止機能設定表示
凍結防止機能が設定されているときに表示されます。
（14 ページ参照）

チャイルドロック表示
チャイルドロックが設定されている際に表示されます。
（14 ページ参照）

温度表示
温度設定および表示時に点灯します。

時間表示
タイマー予約設定操作時に🕒マークと共に点灯します。

電力レベル設定表示
設定されている電力レベルが表示されます。
（11 ページ参照）

	表示	消費電力
強	▂▃▅	1200W
中	▂▃	700W
弱	▂	500W
運転停止	（表示なし）	–

タイマー予約設定表示
タイマー予約設定時に緑色に点灯します。

※通常使用時にこれらが同時に表示されることはありません。

操作パネル

電源ボタン
運転の開始／停止を行います。

電力レベル設定ボタン
3 段階に電力レベルを切り替えることができます。押すごとに 弱→中→強 と切り替わります。

タイマー設定ボタン
タイマーの設定および設定解除をするときに使用します。

＋／－ボタン
温度やタイマーの設定を変更するときに使用します。

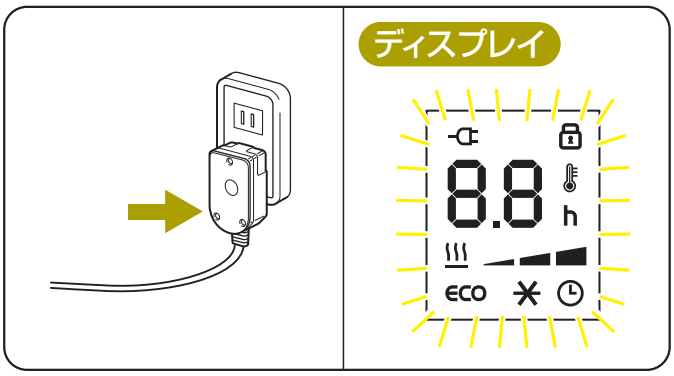
エコ運転ボタン
エコ運転に切り替えることができます。押すごとに**エコ運転⇄マニュアル運転**と切り替わります。

ヒント
- ボタンを操作する際は、各ボタンの右側を押してください。
- 操作音をオフにすることはできません。

暖房運転を行う

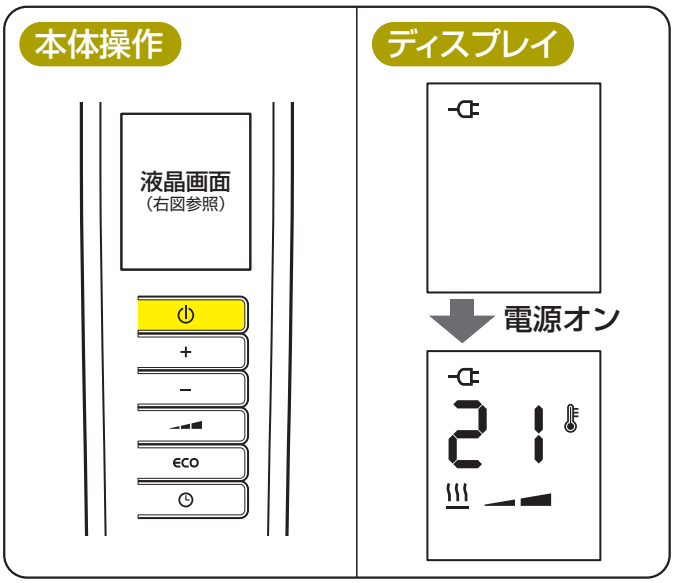
1 電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグは**コンセントに直接、**根元までしっかりと入れてください。また、**電源コード**は、コードホルダーから解き、伸ばした状態でご使用ください。
- ディスプレイが一時的にすべて点灯し、**通電表示**が点灯します。この時はまだ暖房は開始されません。



2 電源ボタンを押し、電源を入れる

- 電源ボタンを押し、電源を入れます。電源を入れると、設定されている**電力レベル・温度**が表示されます。



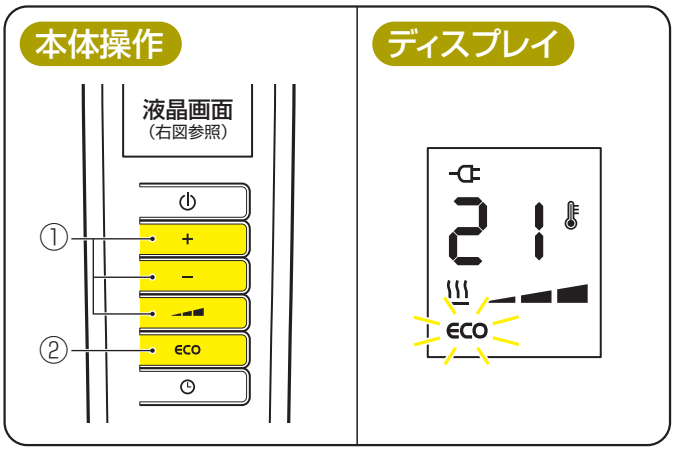
3 設定を行う

① 電力レベル、温度を設定する

- **電力レベル設定ボタン、＋／－ボタン**で設定を行います。詳しくは11ページ「暖房の設定方法」を参照してください。

② 運転モードを選択する

- **エコ運転ボタン**で運転モードを選択します。詳しくは12ページ「運転モードの切り替え」を参照してください。



ヒント　暖房運転開始時は室内を早く暖めるために、電力レベルを「強」に設定することをおすすめします。

4 運転を終了する

- 運転を終えるときは、電源ボタンを押して電源を切ってください。
- 使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

暖房の設定方法

電源プラグをコンセントに差し込んだ状態（通電表示→点灯）で操作してください。

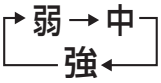
1 電力レベルの設定

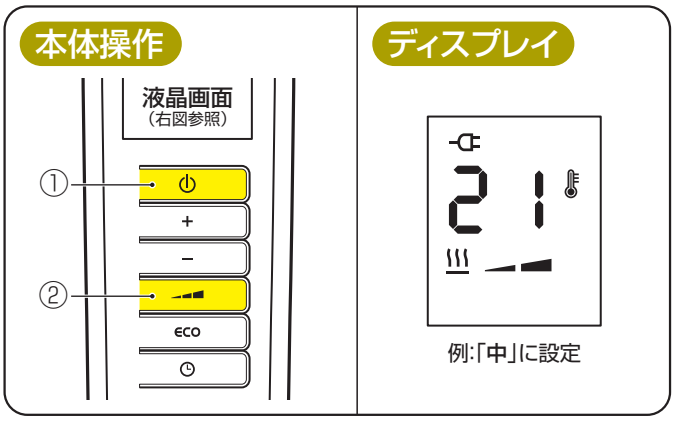
① 電源を入れる

- **電源ボタン**を押し、電源を入れます。
  ディスプレイに設定温度が表示されます。

② 電力レベルを設定する

- **電力レベル設定ボタン**を押すたびに、電力レベル設定が切り替わります。





	電力レベル設定表示	稼働電力レベル表示	消費電力
強	▂▃▅	赤色	1200W
中	▂▃	黄色	700W
弱	▂	緑色	500W

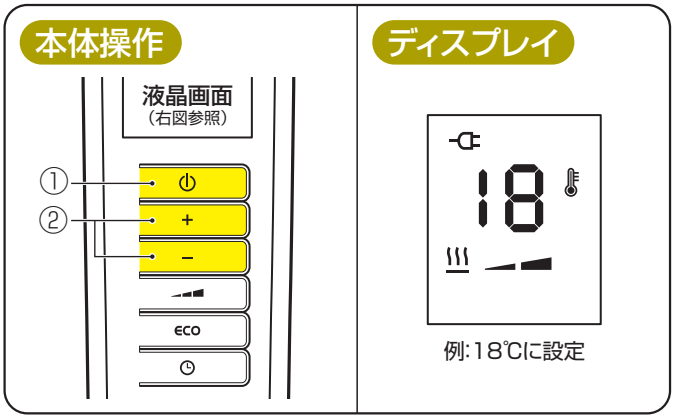
2 温度の設定

① 電源を入れる

- **電源ボタン**を押し、電源を入れます。

② 温度を設定する

- **＋／－ボタン**を押すと、希望の温度が設定できます。
  温度は10～28℃の間で設定可能です。



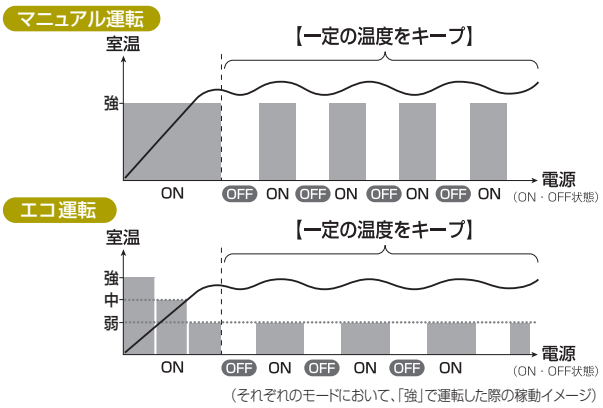
ヒント ヒーターは、温度センサー付近の周辺温度を感知し、設定した温度を保つよう自動的に暖房のオン・オフを繰り返します。そのため、設定した温度が周辺温度よりも低い場合には暖房は開始されません。ヒーター本体を暖めるため、暖房開始時は最大温度（28℃）に設定することをおすすめします。

運転モードの切り替え

暖房運転はマニュアル運転とエコ運転の 2 種類の運転モードから選べます。エコ運転は設定した温度より、ひかえめな温度（設定した温度より約 0.5 ～ 2℃低い温度）で運転することにより消費電力量を減らすモードです。また、この運転モードではひかえめな温度になるように最適な電力レベルに自動で切り替わります。

運転モード	温　度	電力レベル
マニュアル運転	設定した温度	設定した電力レベル
エコ運転	設定した温度より ひかえめな温度	設定した電力レベル 以下で自動切替運転

※ 運転中、どの電力レベルで稼働しているかを稼働電力レベル表示の色で確認できます。（11 ページ「電力レベルの設定」を参照）



（それぞれのモードにおいて、「強」で運転した際の稼動イメージ）

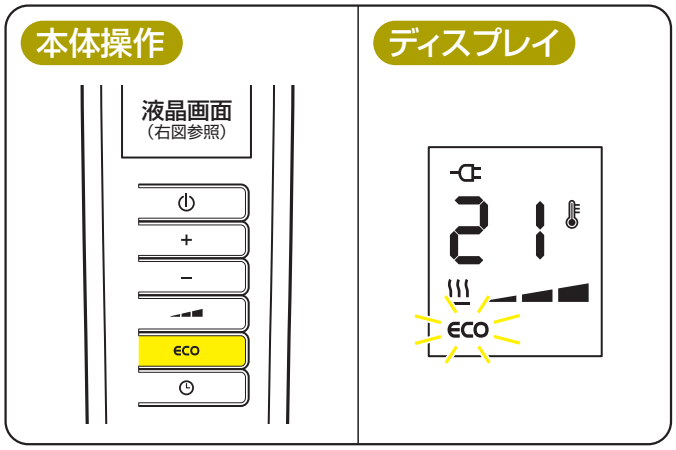
ヒント　エコ運転モード時でも電力レベルを選択することができます。設定した電力レベルを上限として、自動で切り替わります。
例：「中」でエコ運転した場合、ヒーターは自動で「中・弱・オフ」を切り替えて運転します。

運転モードの切り替え方法

エコ運転ボタンを押す

- ディスプレイにECOと表示されます。
- 解除するときは、もう一度エコ運転ボタンを押します。

エコ運転モード時でも電力レベルを選択することができます。
エコ運転中は設定した電力レベルを上限として、稼働電力レベル表示の色が切り替わりますので、消費電力が抑えられていることがご確認いただけます。



ヒント　室内を早く暖めるために、エコ運転時も電力レベルを「強」に設定することをおすすめします。お部屋が暖まるにつれ、自動で電力レベルを下げていきます。

タイマー運転の方法

運転開始（ON）や停止（OFF）を予約できます（ON と OFF を両方設定することはできません）。
電源オフ中に設定すると ON タイマー、運転中に設定すると OFF タイマーとして働きます。
タイマーは、10 時間先までは 30 分ごと、10 ～ 24 時間先までは 1 時間ごとに設定できます。

ON タイマー（運転開始時間）を設定する

①タイマー運転開始時の動作設定をする

●電源をオンして、電力レベル、温度、エコ／マニュアル運転を設定してください。（11 ～ 12 ページ）

②電源ボタンを押し、電源を切る

③タイマー設定ボタンを押す

●🕒マークとhマークが点滅して、タイマー設定状態になります。

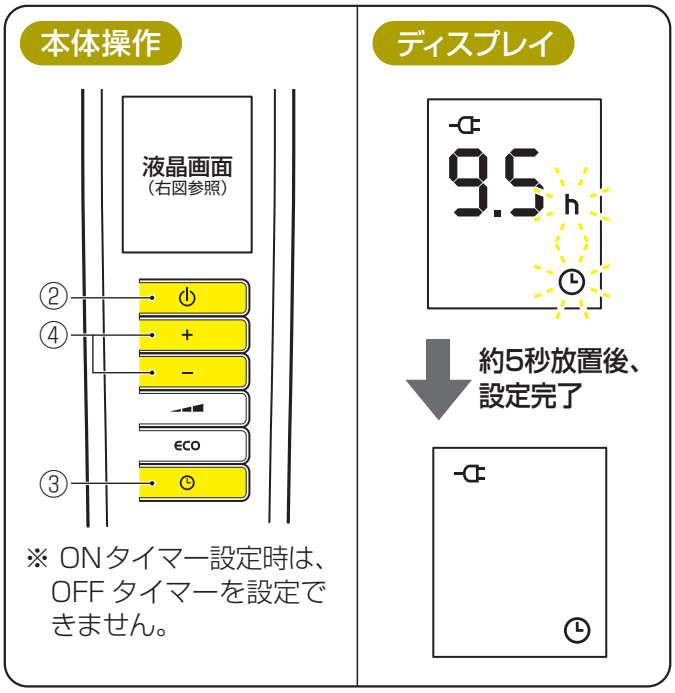
④運転開始時間を設定する

●＋／－ボタンで運転開始までの時間を設定してください。（例：9.5h ＝ 9 時間 30 分後）

⑤タイマー予約設定表示 🕒マークが点灯するのを確認する

●時間を設定したら、そのまま点滅が終了するのを待ってください。（約 5 秒間）**タイマー予約設定表示 🕒マークが点灯**すると、タイマー設定が完了します。

●設定した時間になると、暖房運転を開始します。



※ ON タイマー設定時は、OFF タイマーを設定できません。

OFF タイマー（運転終了時間）を設定する

①暖房運転中にタイマー設定ボタンを押す

●🕒マークとhマークが点滅して、タイマー設定状態になります。

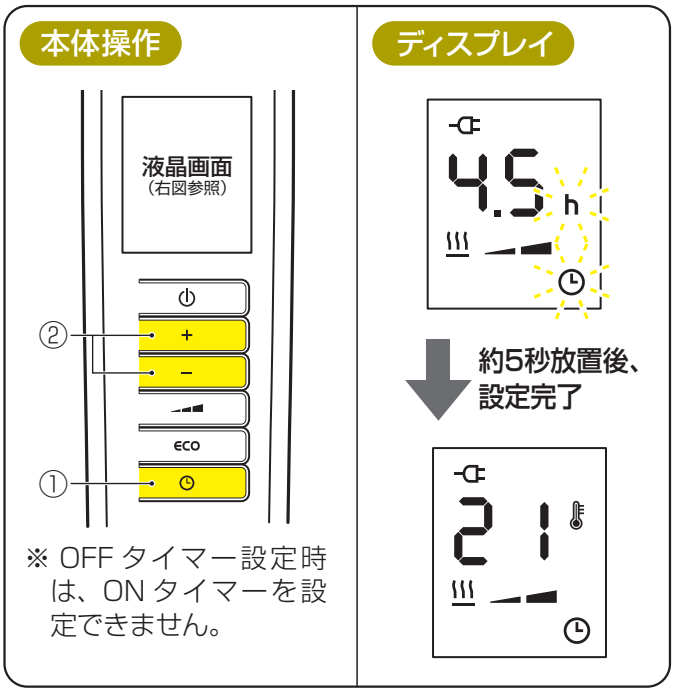
②運転終了時間を設定する

●＋／－ボタンで運転終了までの時間を設定してください。（例：4.5h ＝ 4 時間 30 分後）

③タイマー予約設定表示 🕒マークが点灯するのを確認する

●時間を設定したら、そのまま点滅が終了するのを待ってください。（約 5 秒間）**タイマー予約設定表示 🕒マークが点灯**すると、タイマー設定が完了します。

●設定した時間になると、暖房運転を終了します。



※ OFF タイマー設定時は、ON タイマーを設定できません。

ヒント

・🕒が点灯するとタイマー設定は完了です。点灯していないときは、再度タイマー設定の手順を行ってください。

・🕒およびhが点滅している間は、タイマー設定ボタンを押さないでください。🕒およびhの点滅中にタイマー設定ボタンを押すと、タイマーが正しく設定されません。点滅中にタイマー設定ボタンを押してしまった場合は、タイマー設定手順をはじめからやり直してください。

タイマー設定を解除したい場合は

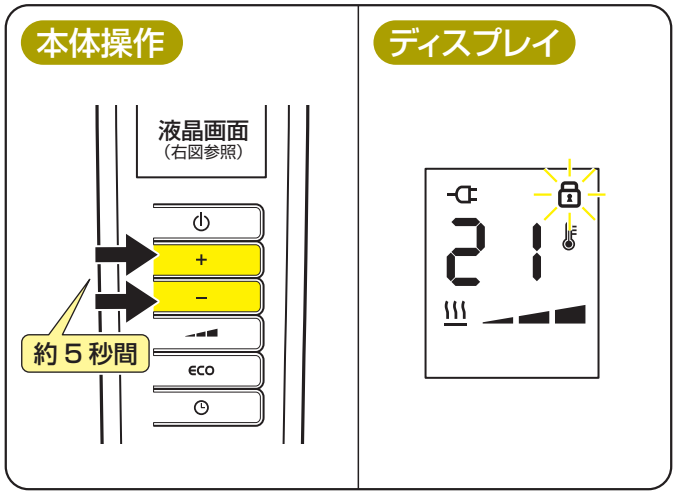
タイマー設定ボタンを 2 回続けて押して、タイマー予約設定表示 🕒 マークが消灯している状態にしてください。タイマー予約が解除されます。

便利な機能について

チャイルドロック

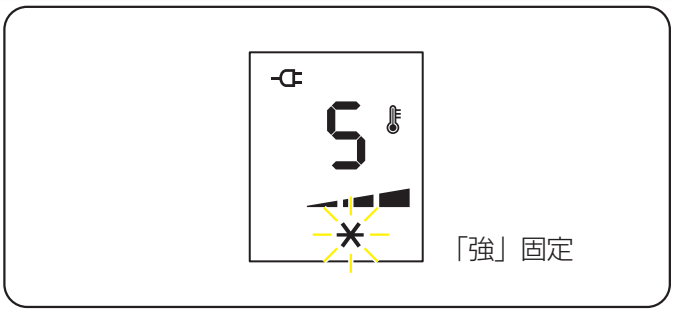
＋／－**ボタン**を同時に約５秒間押し続けることで、**「チャイルドロック」**を行うことができます。設定時はディスプレイに🔒マークが表示され、運転中に停止することはできますが、その他の操作ができなくなります。解除するには、同様の操作を行ってください。

ヒント　チャイルドロックは、運転モードが「マニュアル運転」モードでも「エコ運転」モードでも設定できます。



凍結防止機能

ヒーターには周辺の温度が５℃以下になった場合に自動的に運転を開始し、室温の下がりすぎを防ぐ**「凍結防止機能」**が搭載されています。設定温度を「10℃」よりさらに下げることで設定できます。温度表示が「5℃」と表示され、✱マークが点灯し、**「凍結防止」**が設定されます。



液晶の明るさ設定

①運転中にエコ運転ボタンを長押しする

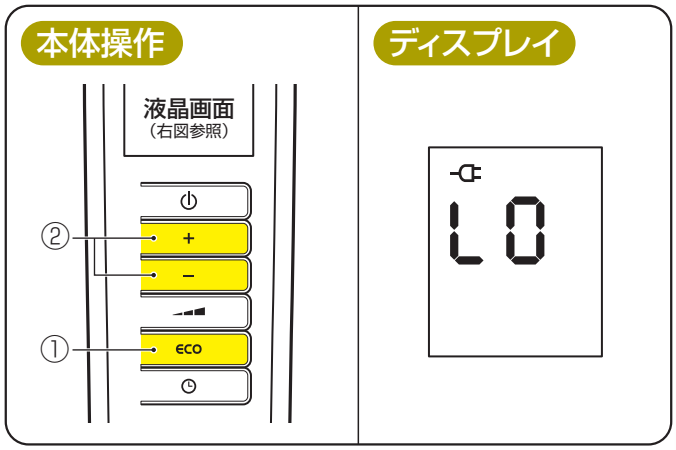
●ディスプレイに「LO」が表示され、液晶の明るさを設定できます。

ご注意　そのまま約５秒間操作しないと、液晶の明るさ設定が中止になります。

②＋／－ボタンで液晶の明るさを調整する

●運転中（ボタン操作した時以外）の液晶の明るさを３段階で設定できます。

●そのままボタン操作をせず５秒待つと、設定が確定します。



故障かな？

使用中に異常が生じた場合は、電源ボタン押して電源を切り（＝運転を中止し）、以下の点をお調べください。なお、修理のご依頼は 18 ページ「アフターサービス」を参照してください。

症　状（状態）	予想される原因	対処のしかた
電源ボタンを押しても、暖かくならない	電源プラグが、コンセントに差し込まれていない	電源プラグ（刃）を、根元までしっかりとコンセントに差し込みます。
	電力レベルが低い	力レベル設定ボタンを押し、電力レベルを▂▃▅（強）に設定します。
	設定温度が低い	＋ボタンを押し、設定温度を上げます。（温度センサー部の周辺温度より設定温度が低い場合は、暖房が開始されません。）
	チャイルドロックが設定されている	＋／－ボタンを同時に約 5 秒間押し、チャイルドロックを解除します。（14 ページ参照）
	電源プラグの復帰型温度過昇防止装置が作動している	運転中に電源プラグスイッチが作動した場合は、一時使用を止め、当社（18 ページ）にご連絡ください。（詳しくは 5 ページ参照）
電源プラグをコンセントに差し込んでも通電表示が点灯しない	電源プラグの復帰型温度過昇防止装置が作動している	電源プラグスイッチをカチッと音がするまでプラグ内に押し込んでください。（5ページ参照）
ボタンを操作してもディスプレイが変化しない	ディスプレイ保護シールが貼られたままになっている	ディスプレイ保護シールをはがしてご使用ください。
	チャイルドロックが設定されている	＋／－ボタンを同時に約 5 秒間長押しして、チャイルドロックを解除します。（14 ページ参照）
電源を入れても稼働電力レベル表示が点灯しない	設定温度が低い	＋ボタンを押し、設定温度を上げます。（温度センサー部の周辺温度より設定温度が低い場合は、暖房が開始されません。）
	タイマー運転をしている	タイマー設定ボタンを 2 回押し、通常運転に切り替えます。
タイマー設定ボタンを押してもタイマー予約設定表示が点灯しない	タイマー予約設定表示が故障している可能性あり	お求めの販売店または当社（18 ページ）にご連絡ください。
使用中、電源プラグ・コードが異常に熱くなる（通常時目安：「強」運転時で約 40℃）	電源プラグ・コードが正しく接続されていない	電源プラグ・コード、コンセントの安全チェックシート (4 ページ) を参照してください。
タイマーで設定した暖房の開始時刻になっても、暖房が始まらない	設定温度が低い	＋ボタンを押し、設定温度を上げます。（温度センサー部の周辺温度より設定温度が低い場合は、暖房が開始されません。）
部屋が暖まらない ※暖房する部屋の諸条件（断熱材や位置など）によって異なります	設定温度が低い	＋ボタンを押し、設定温度を上げます。（温度センサー部の周辺温度より設定温度が低い場合は、暖房が開始されません。）
	電力レベル設定ボタンを▂（弱）に設定している	電力レベル設定ボタンを押し、電力レベルを▂▃▅（強）に設定してください。
	ヒーターを、ドア（出入口）付近に置いて使用している	ヒーターの暖気が逃げてしまうので、ドア（出入口）から離した場所に置いて使用してください。また、窓近くで発生する冷気の侵入を防ぐには、窓下付近に置いて使用するのが効果的です。
	ヒーターのラジエーター内部にあるオイルが、まだ暖まっていない	オイルが暖まるのに約 30 分～ 1 時間かかるため、事前に電源を入れておいてください。部屋を暖めたい 1 時間前に暖房運転が始まるようタイマーを設定しておくと便利です。
	ホットカーペットや床暖房の上で使用している	ボタンを押し、設定温度を上げるか、ホットカーペットや床暖房の上ではない場所に移動してください。（温度センサー部の周辺温度より設定温度は低い場合は、暖房が開始されません。）

症　状（状態）	予想される原因	対処のしかた
ディスプレイに「・」が点滅している	転倒時自動電源遮断装置が作動している	本体が傾いています。本体を平らで安定した場所に設置してから、電源を入れ直してください。
ディスプレイに「H.t」が点滅している	温度過昇防止装置が作動している	本体の通気口がふさがれていたり、本体が覆われたりしているなどの理由で、温度過昇防止装置が作動しました。電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えるまでお待ちください。電源を入れ直しても正常に動作しない場合は、当社（18 ページ）にご相談ください。
ディスプレイに「P.F」が点滅している	センサーが故障している	ただちに電源プラグをコンセントから抜き、当社（18 ページ）にご相談ください。
設定できる温度表示が高すぎる	表示設定が華氏温度になっている	摂氏温度に戻します。電源プラグを差し込んだ状態で＋ボタンとエコ運転ボタンを同時に押し続け、「ピピ」という音がしたら指を離してください。
内部のオイルが漏れ出している	偶発的な不具合	オイルは難燃性であり発火に至ることはなく、また皮膚に触れても人体に重大な危険を生じさせるものではありませんが、万一オイルが漏出した場合は次のとおりにお取扱いください。 電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、漏れ出したオイルをタオルなどで拭き取ってください。必要に応じて窓を開けるなどして換気を行ってください。また、オイルが皮膚に付着した場合はぬるま湯と石鹸で洗浄してください。その後、当社（18 ページ）にご連絡ください。

これは故障ではありません

初期使用時の臭いについて

最初は、新製品特有の臭いを感じることがあります。これは、本体の耐熱塗装が熱になじむまでのことで、機能や安全性に問題はありません。数日ご使用いただきますと、臭いは次第におさまります。

まれに「カンカン」や「キーン」といった金属音がする

本体が温まったり、冷めたりする際に発生する音です。異常ではありません。

パチッパチッと音がする

電源を入れると、しばらく、ヒーター内部で天ぷらを揚げる様な音がする場合があります。これは、外気との温度差によって結露が生じ、熱くなったオイルに落ちたときのものです。異常ではありません。

お手入れ／保管のしかた

- **お手入れや保管をする場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行う**
- **絶対に水に浸したり、水洗いをしない**

お手入れ

定期的なお手入れ

- 本体および床や壁との隙間に溜まっているゴミやほこりは、掃除機などで必ず取り除いてください。
- コンセント（刃受）および電源プラグ（刃）に付着しているゴミやほこりは、定期的に掃除機などで必ず取り除いてください。トラッキング現象の防止となります。（5ページ）

本体が汚れたら

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、硬く絞ってから拭いてください。

洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しない

保管のしかた

① 保管前のお手入れ

このページの「お手入れ」に従って、本体の汚れやたまったほこりを取り除いてください。

② 電源コードの収納

保管する前に、電源コードをコードホルダー（8ページ）に**軽く巻いて**電源コードを収納してください。

電源コードをコードホルダーに強く巻かない
（火災の原因）

③ 保管するときのご注意

- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 箱に収納しない場合は、必ずキャスターを開いた状態で保管してください。

保管の際は、逆立てたり、横倒しにしたり、上に物を置かない

仕　様

型式番号		JRE0812
広さの目安数		8畳※1 ～ 10畳※2
電圧／周波数		交流 100V ／ 50/60Hz
定格	強	1200 W
	中	700 W
	弱	500 W
外形寸法(約)		長さ 42.5 cm × 幅 26.0 cm × 高さ 65.0 cm
質量(約)		11.0 kg
フィン枚数		8枚
フィン形状		新L字型フラットフィン
タイマー		デジタルON/OFFタイマー（同時使用はできません）
安全装置		転倒時自動電源遮断装置、温度過昇防止装置(本体内)、復帰型温度過昇防止装置(電源プラグ内)

※1　日本電機工業会自主基準
※2　デロンギ自社実験による。試験条件：新省エネルギー基準　外気温5℃、5面接触

アフターサービス

使用中に異常(★)が生じた場合：

直ちに電源を切り（＝運転中止)、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「故障かな？」（15 ～16ページ）で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社(下記)にご相談ください。

★以下のような場合には、点検および修理が必要です

- 使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- 操作パネルや放熱板に、水などの液体をこぼした
- 電源コード、電源プラグが変形／破損している
- 本体に強い衝撃(転倒・落下)を与えた
- 取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

万一故障した場合：

保証書に記載されている販売店に、『①**お買い上げ日**』、『②**製品名称と型式番号**』、『③**故障の状況**』をご連絡の上、修理をご依頼ください。

※修理品の送付先については、お電話またはホームページ（下記）でご確認ください。

※修理品を送付する場合は、必ず故障の状況を記載したメモと、保証期間内の場合は保証書を同封してください。

※本製品のメーカー保証範囲は保証規定によります。保証期間を経過した製品についても、お問い合わせや有償での修理をうけたまわります（補修用性能部品保有期間内)。

補修用性能部品の保有期間について：

当社では、このオイルヒーターの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に６年間保有しております。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

まごころ点検について：

長年ご使用のヒーターは、点検をお勧めします。

保証期間(３年)が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検(お預かり)をお勧めします。点検の依頼および料金等につきましては、下記にお問い合わせください。

デロンギ再資源化システムについて：

ご不要になった製品は、当社で費用を負担し、素材ごとに分別し、再資源化いたします。

製品のお預かり方法など、再資源化のご相談は下記までご連絡ください。

- 送料について：送料はお客様のご負担(元払い)となります。あらかじめご了承ください。
- 梱包について：製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアーパッキンにくるんでください。

※ 修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

※ 送付先については、お電話またはホームページ(下記)でご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明な点がございましたら、販売店または下記にお問い合わせください。

デロンギ お客様サポートセンター（受付時間：土、日、祝日を除く毎日9:30 ～ 18:00）

Tel. **0120-804-280**　　Fax. **0120-956-020**

〒201-0012　東京都狛江市中和泉5-33-37

ホームページでのお問い合わせ(URL) ..... **http://www.delonghi.co.jp/support**

保証書

ご販売店さまへ、※印欄は必ずご記入ください。 **持込修理**

製品名：デロンギ　オイルヒーター			
型式番号：JRE0812			
お客様	ご氏名：　　様	TEL：　　－　　－	
	ご住所：〒		
販売店	※店名・住所・TEL：　　印		
※お買い上げ日：　　年　　月　　日	保証期間：お買い上げ日より３年間	保証対象：本体	

見本

保証規定

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容の範囲で無料修理を行うことをお約束するものです。

1. お買い上げの日から表記期間中故障が発生した場合は、本書と購入証明（レシート、領収書、配送伝票でも可）をご準備の上、下記までご連絡ください。お買い上げ販売店独自の保証やその他サービスがある場合は販売店へご相談ください。
2. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
3. ご贈答品などで本保証書に記入しているお買い上げの販売店にご相談ができない場合には、下記に直接ご連絡ください。
4. 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様のご負担となりますので、ご了承ください。
   - イ. 本書のご提示がない場合
   - ロ. 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障・損傷
   - ハ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障・損傷
   - ニ. 火災・公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）・異常電圧・定格外の使用電源（電圧、周波数）および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷
   - ホ. 一般家庭用以外（例えば業務用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障・損傷
   - ヘ. 購入証明（レシート、領収書、配送伝票でも可）が無く、お買い上げ日、お客様名、販売店名が確認できない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
   - ト. 消耗品が損耗し、取り替えが必要な場合
   - チ. 付属品および本体から取り外せる部品の破損・紛失
5. 修理に際して代替部品に交換する場合があります。この場合、交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。
6. 故障状態、その他の事情により、修理に代えて同機種での製品交換、または同等能力を有する他機種への交換となる場合があります。
7. 故障によりお買い上げの製品が使用できないことによって生じた損害については補償いたしません。
8. 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
9. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

- この保証書は、本書に記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記にお問い合わせください。
- 補修用性能部品の保有期間につきましては取扱説明書「アフターサービスについて」をご覧ください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

切り取り線

デロンギ・ジャパン株式会社

TEL.0120-804-280　〒201-0012　東京都狛江市中和泉 5-33-37

ホームページ　**http://www.delonghi.co.jp**

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地、営業時間は変更することがありますのでご了承ください。

DēLonghi

DHI-190317
5718511171